

各位

株式会社エムティーアイ  
代表取締役社長 前多 俊宏  
(東証プライム・コード 9438)  
問い合わせ責任者  
専務取締役 松本 博  
TEL : 03-5333-6323

**(訂正)「2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正に関するお知らせ**

2024年8月6日に発表しました「2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」について一部訂正を要する箇所がありましたので、下記のとおり訂正します。

なお、訂正箇所には\_\_\_\_(下線)で示し、訂正のない箇所は記載を省略しています。

記

**1. 訂正の理由**

セグメント情報等の会計処理について誤りが判明したため、当該事項を訂正するものです。

**2. 訂正箇所および訂正内容**

**・添付資料 3 ページ**

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2024年9月期 第3四半期の概況(2023年10月1日~2024年6月30日)

**【訂正前】**

④ その他事業

その他事業には、BtoB型の連結子会社の Automagi 株式会社で展開する AI 事業、当社における法人向け DX 支援事業やソリューション事業等が属しています。

売上高は、AI 事業および法人向け DX 支援事業の受注が拡大したことにより 4,347 百万円（前年同期比 20.7%増）となりました。営業利益については、法人向け DX 支援事業の赤字案件が収束したことによる売上原価の減少等により、178 百万円（前年同期は 1,220 百万円の損失）と黒字転換し、大幅増益となりました。

**【訂正後】**

④ その他事業

その他事業には、BtoB型の連結子会社の Automagi 株式会社で展開する AI 事業、当社における法人向け DX 支援事業やソリューション事業等が属しています。

売上高は、AI 事業および法人向け DX 支援事業の受注が拡大したことにより 4,347 百万円（前年同期比 20.7%増）となりました。営業利益については、法人向け DX 支援事業の赤字案件が収束したことによる売上原価の減少等により、141 百万円（前年同期は 1,220 百万円の損失）と黒字転換し、大幅増益となりました。

**・添付資料 10 ページ**

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

## 【訂正前】

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	学校D X 事業	その他 事業	計		
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	12,459,879	3,985,408	825,220	2,811,124	20,081,634	—	20,081,634
一定の期間にわたり 移転される財又は サービス	55,113	31,470	45,760	322,828	455,172	—	455,172
顧客との契約から 生じる収益	12,514,993	4,016,878	870,980	3,133,953	20,536,806	—	20,536,806
外部顧客への売上高	12,514,993	4,016,878	870,980	3,133,953	20,536,806	—	20,536,806
セグメント間の内部 売上高又は振替高	114,644	6,261	15,000	1,213,345	1,349,251	△1,349,251	—
計	12,629,638	4,023,139	885,980	4,347,299	21,886,057	△1,349,251	20,536,806
セグメント利益 又は損失(△)	3,320,732	279,346	△103,869	<u>178,485</u>	<u>3,674,695</u>	<u>△1,922,411</u>	1,752,283

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,922,411千円には、セグメント間取引消去△52,440千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△1,869,970千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っています。

## 【訂正後】

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	学校D X 事業	その他 事業	計		
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	12,459,879	3,985,408	825,220	2,811,124	20,081,634	—	20,081,634
一定の期間にわたり 移転される財又は サービス	55,113	31,470	45,760	322,828	455,172	—	455,172
顧客との契約から 生じる収益	12,514,993	4,016,878	870,980	3,133,953	20,536,806	—	20,536,806
外部顧客への売上高	12,514,993	4,016,878	870,980	3,133,953	20,536,806	—	20,536,806
セグメント間の内部 売上高又は振替高	114,644	6,261	15,000	1,213,345	1,349,251	△1,349,251	—
計	12,629,638	4,023,139	885,980	4,347,299	21,886,057	△1,349,251	20,536,806
セグメント利益 又は損失(△)	3,320,732	279,346	△103,869	<u>141,017</u>	<u>3,637,226</u>	<u>△1,884,942</u>	1,752,283

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,884,942千円には、セグメント間取引消去△14,972千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△1,869,970千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っています。

以 上

**【お問い合わせ先】**

株式会社エムティーアイ

IR室 e-mail: [ir@mti.co.jp](mailto:ir@mti.co.jp)

URL: <https://ir.mti.co.jp>